

## 5.5 地域ブロック毎の特徴

両生類・爬虫類・哺乳類は、地方に固有の種や亜種がみられますが、それらは地史的、地理的な影響により分布が限られており、必ずしも地方ブロック毎での分布は必ずしも明確ではありません。

しかし、人間活動の影響によって侵入・定着する外来種については、一部の地方において侵入、定着し、その後他の地方へ拡大していくことが考えられます。

ここでは、近年増加傾向にある外来種のうち、限られた地方における確認が多い、ヌートリアの確認状況について整理しました。

### 【ヌートリアの確認状況】

(両生類・爬虫類・哺乳類調査)

#### ● ヌートリアは一部地方のみで分布拡大

ヌートリアは、1 巡目調査において、中国地方、近畿地方西部、中部地方で確認された後、各地方で分布が拡大しています。また、1 巡目から 4 巡目調査にかけて同一河川の上流側へ確認地点が増加しています。

ヌートリアは、現時点では一部の地域でのみ確認されていますが、他の地方への侵入も考えられることから、今後の動向に注意していきます。

(資料掲載:5-39～5-40ページ)

ヌートリアは、大型のネズミ類で、1939～49年、軍用の毛皮獣として導入され、各地で養殖されました。しかし終戦後、養殖場の閉鎖によって野外に放逐され、野生化しました。ヌートリアは、南アメリカ原産で、水辺に生活し水草などを食べます。

ヌートリアは、中国地方の吉井川、日野川、太田川など 5 河川、近畿地方の由良川、加古川、揖保川の 3 河川、中部地方の庄内川、木曾川水系で 1 巡目から確認されました。2 巡目以降、中国地方の千代川、天神川、高梁川など 5 河川、近畿地方の円山川、北川、淀川水系、中部地方の鈴鹿川、豊川、矢作川で分布の拡大が見られました。また、1 巡目から 4 巡目調査にかけて同一河川の上流側へ確認地点が増加しています。

ヌートリアは、現時点では一部の地域でのみ確認されていますが、他の地方への侵入も考えられることから、今後の動向に注意していきます。

